



安全データシート

Copyright, 2026, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

Document Group Number	08-6165-8	版	12.00
発行日	2026/03/26	前発行日	2021/01/04

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3M[™] ウレタンボデーシーラー ソーセージパック 8654

3M スtockナンバー

JS-3000-4246-7

7010668309

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

シーラント

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	オート・アフターマーケット 製品事業部技術部
電話番号	042-779-2185

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体： 区分 4

皮膚感作性： 区分 1

生殖毒性： 区分 1

発がん性： 区分 2

特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分 2

特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 区分 2

GHSラベル要素

注意喚起語

危険

シンボル

感嘆符 健康有害性

ピクトグラム



危険有害性情報

H227

可燃性液体

H317

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H360

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

H351

発がんのおそれの疑い

H371

臓器の障害のおそれ：
感覚器。

H373

長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ：
神経系。

注意書き

安全対策

P201

使用前に取扱説明書を入手すること。

P202

安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。

P210A

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

P260

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

P280E

保護手袋を着用すること。

P270

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

P264

取扱後はよく洗うこと。

P272

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

応急措置

P302 + P352

皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。

P333 + P313

皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。

P362 + P364

汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。

P308 + P311

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡する事。

P314

気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

P370 + P378G

火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

保管

P403

換気の良い場所で保管すること。

P405

施錠して保管すること。

廃棄

P501

内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
ウレタンプレポリマー	営業秘密	15 - 40
フィラー、ピグメント	営業秘密	10 - 30
フタル酸ジイソデシル	26761-40-0	24
ポリ塩化ビニル	9002-86-2	3 - 7
可塑剤	営業秘密	1 - 5
二酸化チタン	13463-67-7	4.5
キシレン	1330-20-7	2.3
添加物、触媒	営業秘密	0.5 - 1.5
溶剤	営業秘密	0.5 - 1.5
エチルベンゼン	100-41-4	0.70
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	101-68-8	0.50

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性呼吸反応（呼吸困難、喘鳴、咳、胸部圧迫感）。アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。長期あるいは反復ばく露による標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物**物質**

一酸化炭素
二酸化炭素
刺激性蒸気あるいはガス
窒素酸化物

条件

燃焼中
燃焼中
燃焼中
燃焼中

消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。 ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 新鮮な空気ですその場所を換気する。 大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。 ばく露評価の結果に基づいて個人用保護具を使用すること。推奨の個人用保護具についてはセクション8を参照する。漏出時に予想されるばく露がセクション8に記載されている個人用保護具の保護性能を超える場合、または不明な場合は、材料の物理的および化学的危険性を考慮し、適切な保護性能を有する個人用保護具を選択する。緊急対応のための個人用保護具の例としては、可燃性物質の漏出時の防火服の着用、漏出物質が腐食性・感作性・重大な皮膚刺激性がある場合や皮膚から吸収される可能性がある場合の化学防護服の着用、吸入有害性のある化学物質に対しては陽圧式送気マスクの装着が挙げられる。物理的および健康有害性に関する情報については、SDSのセクション2および11を参照すること。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。 吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。 出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。 関係当局が許可した輸送用容器に入れる。圧力上昇を避けるために、48時間以上は密閉しない。 有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。 密閉された換気不良の場所で使用しないこと。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。 禁煙。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後はよく洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 環境への放出を避けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。 指定された個人保護具を使用する。 蒸気が地上や床をはって着火源に流れ、遠距離引火することがある。

保管

換気の良い場所で保管すること。 涼しいところに置くこと。 水や空気から避けるため、容器はしっかりと密閉する。 水や空気と接触したことが疑われる場合は、容器を再密閉しない。 酸から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。 アミンから離して保管する。

セクション 8 : ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション 3 に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
エチルベンゼン	100-41-4	ACGIH	TWA : 20 ppm	A3: 動物発がん性物質, 聴器毒性物質
エチルベンゼン	100-41-4	ISHL	TLV (8 時間) : 20 ppm	
エチルベンゼン	100-41-4	JSOH OELs	TWA (8 時間) : 87 mg/m ³ (20 ppm)	2B: ヒトに対しておそらく発がん性がある (証拠が比較的の不十分)、皮膚
メチレン ビスフェニルイソシアネート (MDI)	101-68-8	ACGIH	TWA : 0.005 ppm	
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	101-68-8	ISHL (濃度基準値)	TWA (8 時間) : 0.05 mg/m ³	25°C 1 気圧空气中
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	101-68-8	JSOH OELs	TWA (8 時間) : 0.05 mg/m ³	呼吸器感作性が確認された物質
キシレン	1330-20-7	ACGIH	TWA : 20 ppm	A4: ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
キシレン	1330-20-7	ISHL	TLV (8 時間) : 50 ppm	
キシレン	1330-20-7	JSOH OELs	TWA (8 時間) : 217 mg/m ³ (50 ppm)	
二酸化チタン	13463-67-7	ACGIH	vTWA (吸入性ナノ粒子) : 0.2 mg/m ³ ; TWA (吸入性微粒子) : 2.5 mg/m ³	A3: 動物発がん性物質
二酸化チタン	13463-67-7	JSOH OELs	TWA (チタンとして、総粉じ	2B: ヒトに対しておそ

			んとして) (8 時間): 2 mg/m ³ ; TWA (チタンとして、吸引性粉じんとして) (8 時間): 1.5 mg/m ³ ; TWA (8 時間): 0.3 mg/m ³ ; TWA (提案) (8 時間): 0.3 mg/m ³	らく発がん性がある (証拠が比較的不十分)
遊離シリカ含有率 3%未満の粉塵、吸入性粉塵	9002-86-2	JSOH OELs	TWA (総粉じん) (8 時間): 4mg/m ³ ; TWA (吸入性粉じん) (8 時間): 1mg/m ³	
ポリ塩化ビニル	9002-86-2	ACGIH	TWA (吸入性分画) : 1mg/m ³	A4: ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
ポリ塩化ビニル	9002-86-2	JSOH OELs	限界値は未設定	皮膚感作性のおそれ。

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA: American Industrial Hygiene Association

ISHL: 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL(濃度基準値): 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs: 日本産業衛生学会許容濃度

TWA: 時間加重平均値

STEL: 短時間ばく露限界値

ppm: 百万分率

mg/m³: ミリグラム/立方メートル

CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

特に必要としない。

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。 注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質: 樹脂ラミネート。

暴露の可能性が高い用途 (例: スプレー、飛沫発生が予見される用途など) に本製品が用いられる場合、保護エプロンを使用する必要がある。適切なエプロンの材料を選定する際には手袋に推奨されている材料を参照のこと。手袋で用いた材料がエプロン用で入手できない場合は、ポリマーでラミネートした素材が適切な選択肢である。

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する:

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态:	ペースト
色	白色
臭い	溶剤
臭いの閾値	データはない。
pH	データはない。
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	データはない。
引火点	64.6 °C [試験方法: クローズドカップ法] [詳細: セタ]
蒸発速度	データはない。
引火性	引火性液体: 区分 4
燃焼点 (下限)	データはない。
燃焼点 (上限)	データはない。
蒸気圧	データはない。
相対蒸気密度	データはない。
密度	1.26 g/ml
比重	1.26 [参照基準: 水=1]
溶解度	なし。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
動粘性率	データはない。
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	4 - 8 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性	適用しない
------	-------

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

火花及び／ないし炎

混触危険物質

アミン類

アルコール類

水

危険有害な分解物**物質****条件**

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。 また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報**ばく露による症状**

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。 アレルギー性呼吸器反応： 呼吸困難、喘鳴、発咳、胸部圧迫感などの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

皮膚に付着した場合

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。 皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応： 発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

特定標的臓器毒性、単回ばく露

聴覚への影響： 聴覚障害、平衡機能異常及び耳鳴りなどの症状。

長時間又は反復暴露した場合：

聴覚への影響： 聴覚障害、平衡機能異常及び耳鳴りなどの症状。 神経への影響： 性格の変化、協調障害、感覚喪失、四肢の刺痛又はしびれ、虚弱、ふるえ、血圧変化及び心拍数変化などの症状。

生殖毒性

出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

発がん性

発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

毒性データ

セクション 3 に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	吸入－蒸気 (4 時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。50 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
フタル酸ジイソデシル	皮膚	ウサギ	LD50 > 3,160 mg/kg
フタル酸ジイソデシル	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 12.5 mg/l
フタル酸ジイソデシル	経口摂取	ラット	LD50 > 9,700 mg/kg
ポリ塩化ビニル	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ポリ塩化ビニル	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
二酸化チタン	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
二酸化チタン	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 6.82 mg/l
二酸化チタン	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
キシレン	皮膚	ウサギ	LD50 > 4,200 mg/kg
キシレン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 29 mg/l
キシレン	経口摂取	ラット	LD50 3,523 mg/kg
エチルベンゼン	皮膚	ウサギ	LD50 15,433 mg/kg
エチルベンゼン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 17.4 mg/l
エチルベンゼン	経口摂取	ラット	LD50 4,769 mg/kg
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 0.368 mg/l
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	経口摂取	ラット	LD50 31,600 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
フタル酸ジイソデシル	ウサギ	ごく僅かな刺激臭
ポリ塩化ビニル	専門家による判断	刺激性なし
二酸化チタン	ウサギ	刺激性なし
キシレン	ウサギ	軽度の刺激
エチルベンゼン	ウサギ	軽度の刺激
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	公的な分類	刺激物

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
フタル酸ジイソデシル	ウサギ	軽度の刺激
二酸化チタン	ウサギ	刺激性なし
キシレン	ウサギ	軽度の刺激
エチルベンゼン	ウサギ	中程度の刺激
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	公的な分類	激しい刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
フタル酸ジイソデシル	モルモット	区分に該当しない。
二酸化チタン	ヒト及び動物	区分に該当しない。
エチルベンゼン	ヒト	区分に該当しない。
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	マウス	感作性あり

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	ヒト	感作性あり

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
フタル酸ジイソデシル	In vitro	変異原性なし
フタル酸ジイソデシル	In vivo	変異原性なし
ポリ塩化ビニル	In vitro	変異原性なし
二酸化チタン	In vitro	変異原性なし
二酸化チタン	In vivo	変異原性なし
キシレン	In vitro	変異原性なし
キシレン	In vivo	変異原性なし
エチルベンゼン	In vivo	変異原性なし
エチルベンゼン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
----	----	-----	---------

ポリ塩化ビニル	特段の規定はない。	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。
二酸化チタン	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
二酸化チタン	吸入した場合	ラット	発がん性
キシレン	皮膚	ラット	発がん性なし
キシレン	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
キシレン	吸入した場合	ヒト	陽性データはあるが、分類には不十分。
エチルベンゼン	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	吸入した場合	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
フタル酸ジイソデシル	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 927 mg/kg/日	2 世代
フタル酸ジイソデシル	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 929 mg/kg/日	2 世代
フタル酸ジイソデシル	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	NOAEL 38 mg/kg/日	2 世代
ポリ塩化ビニル	特段の規定はない。	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 入手できない	妊娠期間中
キシレン	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
キシレン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 入手できない	器官発生期
キシレン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 入手できない	妊娠期間中
エチルベンゼン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4.3 mg/l	交配前および妊娠中。
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.004 mg/l	器官発生期

授乳に対するまたは授乳を介した影響

名称	経路	生物種	値又は判定結果
キシレン	経口摂取	マウス	乳汁を介した影響および授乳による影響区分に該当しない。

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
キシレン	吸入した場合	聴覚系	臓器への影響	ラット	LOAEL 6.3 mg/l	8 時間
キシレン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手	

	場合				できない	
キシレン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	
キシレン	吸入した場合	眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3.5 mg/l	入手できない
キシレン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 入手できない	
キシレン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	多種類の動物種	NOAEL 入手できない	
キシレン	経口摂取	眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 250 mg/kg	適用しない。
エチルベンゼン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	
エチルベンゼン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト及び動物	NOAEL 入手できない	
エチルベンゼン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 入手できない	
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	公的な分類	NOAEL 入手できない	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
フタル酸ジイソデシル	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.5 mg/l	2 週
フタル酸ジイソデシル	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.5 mg/l	2 週
フタル酸ジイソデシル	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.5 mg/l	2 週
フタル酸ジイソデシル	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.5 mg/l	2 週
フタル酸ジイソデシル	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 686 mg/kg/日	90 日
フタル酸ジイソデシル	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	90 日
フタル酸ジイソデシル	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	90 日
フタル酸ジイソデシル	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	90 日
フタル酸ジイソデシル	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 320 mg/kg/日	90 日
ポリ塩化ビニル	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 0.013 mg/l	22 月
二酸化チタン	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 0.01 mg/l	2 年
二酸化チタン	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
キシレン	吸入した場合	神経系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	LOAEL 0.4 mg/l	4 週
キシレン	吸入した場合	聴覚系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	LOAEL 7.8 mg/l	5 日
キシレン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 入手できない	
キシレン	吸入した場合	心臓	区分に該当しない。	多種類の動物	NOAEL 3.5 mg/l	13 週

				種		
キシレン	吸入した場合	内分泌系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 3.5 mg/l	13 週
キシレン	吸入した場合	消化管	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 3.5 mg/l	13 週
キシレン	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 3.5 mg/l	13 週
キシレン	吸入した場合	筋肉	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 3.5 mg/l	13 週
キシレン	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 3.5 mg/l	13 週
キシレン	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 3.5 mg/l	13 週
キシレン	経口摂取	聴覚系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 900 mg/kg/日	2 週
キシレン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,500 mg/kg/日	90 日
キシレン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 入手できない	
キシレン	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1,000 mg/kg/日	103 週
キシレン	経口摂取	皮膚	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1,000 mg/kg/日	103 週
キシレン	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1,000 mg/kg/日	103 週
キシレン	経口摂取	骨、歯、爪及び/又は毛髪	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1,000 mg/kg/日	103 週
キシレン	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1,000 mg/kg/日	103 週
キシレン	経口摂取	免疫システム	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1,000 mg/kg/日	103 週
キシレン	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1,000 mg/kg/日	103 週
キシレン	経口摂取	呼吸器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1,000 mg/kg/日	103 週
エチルベンゼン	吸入した場合	聴覚系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	LOAEL 0.9 mg/l	13 週
エチルベンゼン	吸入した場合	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 1.1 mg/l	2 年
エチルベンゼン	吸入した場合	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	NOAEL 1.1 mg/l	103 週
エチルベンゼン	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3.4 mg/l	28 日
エチルベンゼン	吸入した場合	内分泌系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 3.3 mg/l	103 週
エチルベンゼン	吸入した場合	消化管	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3.3 mg/l	2 年
エチルベンゼン	吸入した場合	骨、歯、爪及び/又は毛髪	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 4.2 mg/l	90 日
エチルベンゼン	吸入した場合	筋肉	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 4.2 mg/l	90 日

エチルベンゼン	吸入した場合	心臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 3.3 mg/l	2 年
エチルベンゼン	吸入した場合	免疫システム	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 3.3 mg/l	2 年
エチルベンゼン	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 3.3 mg/l	2 年
エチルベンゼン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 680 mg/kg/日	6 月
エチルベンゼン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 680 mg/kg/日	6 月
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	吸入した場合	呼吸器系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	LOAEL 0.004 mg/l	13 週

誤えん有害性

名称	値又は判定結果
キシレン	誤えん有害性
エチルベンゼン	誤えん有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
ポリ塩化ビニル	9002-86-2	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
フタル酸ジイソデシル	26761-40-0	緑藻類	推定値	96 時間	EC50	>100 mg/l
フタル酸ジイソデシル	26761-40-0	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	>100 mg/l

ソデシル						
フタル酸ジイソデシル	26761-40-0	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	>100 mg/l
フタル酸ジイソデシル	26761-40-0	緑藻類	推定値	96 時間	NOEC	100 mg/l
フタル酸ジイソデシル	26761-40-0	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	100 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	液状化	実験	49 時間	EC50	130 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	大西洋トウゴロイワシ	実験	96 時間	LC50	5.1 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	緑藻類	実験	96 時間	EC50	3.6 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	アミ	実験	96 時間	LC50	2.6 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	ニジマス	実験	96 時間	LC50	4.2 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	1.8 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	ミジンコ	実験	7 日	NOEC	0.96 mg/l
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	101-68-8	液状化	推定値	3 時間	EC50	>100 mg/l
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	101-68-8	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	>1,640 mg/l
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	101-68-8	ミジンコ	推定値	24 時間	EC50	>1,000 mg/l
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	101-68-8	ゼブラフィッシュ	推定値	96 時間	LC50	>1,000 mg/l
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	101-68-8	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	1,640 mg/l
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	101-68-8	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	10 mg/l
二酸化チタン	13463-67-7	液状化	実験	3 時間	NOEC	>=1,000 mg/l
二酸化チタン	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	EC50	>10,000 mg/l
二酸化チタン	13463-67-7	ファットヘツ	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l

		ドミノウ (魚)				
二酸化チタン	13463-67-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
二酸化チタン	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	NOEC	5,600 mg/l
キシレン	1330-20-7	緑藻類	類似コンパウンド	73 時間	ErC50	4.36 mg/l
キシレン	1330-20-7	ニジマス	類似コンパウンド	96 時間	LC50	2.6 mg/l
キシレン	1330-20-7	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	EC50	3.82 mg/l
キシレン	1330-20-7	緑藻類	類似コンパウンド	73 時間	NOEC	0.44 mg/l
キシレン	1330-20-7	ミジンコ	類似コンパウンド	7 日	NOEC	0.96 mg/l
キシレン	1330-20-7	ニジマス	実験	56 日	NOEC	1.3 mg/l
キシレン	1330-20-7	液状化	類似コンパウンド	30 分	EC50	>198 mg/l
キシレン	1330-20-7	シマミミズ	実験	56 日	NOEC	42.6 mg/kg (乾燥重量)
キシレン	1330-20-7	土壌微生物	実験	28 日	EC50	>1,000 mg/kg (乾燥重量)

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ポリ塩化ビニル	9002-86-2	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
フタル酸ジイソデシル	26761-40-0	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	74 %BOD/ThOD	OECD 301F
エチルベンゼン	100-41-4	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	70-80 CO2発生量/理論CO2発生量%	ISO 14593 生分解性試験法 (ヘッドスペースCO2試験)
エチルベンゼン	100-41-4	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	4.26 日 (t 1/2)	
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	101-68-8	推定値 加水分解		加水分解性半減期	20 時間 (t 1/2)	
二酸化チタン	13463-67-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
キシレン	1330-20-7	類似コンパウンド 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	94 %BOD/ThOD	OECD 301F
キシレン	1330-20-7	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	1.4 日 (t 1/2)	

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
----	-------	-------	----	-------	------	-------

ポリ塩化ビニル	9002-86-2	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
フタル酸ジイソデシル	26761-40-0	実験 BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	<14.4	OECD305-生体濃縮度試験
エチルベンゼン	100-41-4	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	1	
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	101-68-8	実験 BCF - 魚	28 日	生物濃縮係数	200	OECD305-生体濃縮度試験
二酸化チタン	13463-67-7	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	9.6	
キシレン	1330-20-7	実験 BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	<=25.9	
キシレン	1330-20-7	類似コンパウンド 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.2	

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意**国内規制がある場合の規制情報**

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない） 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令**国内法規制及び関連情報****日本国内法規制（主な適用法令）**

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査（リスクアセスメント）すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）

消防法：指定可燃物（可燃性固体類）

化管法：指定化学物質

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降 2027年3月31日迄	2027年4月1日以降
フタル酸ジイソデシル	フタル酸ジイソデシル	適用しない	該当	該当
エチルベンゼン	エチルベンゼン	該当	該当	該当
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	1,1'-メチレンビス(イソシアナートベンゼン)	該当	該当	該当
二酸化チタン	酸化チタン(IV)	該当	該当	該当
キシレン	キシレン	該当	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
キシレン	キシレン	80	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報

セクション 15：労働安全衛生法の表「2025年4月1日以降2026年3月31日迄」情報の追加.

セクション 15：労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」情報の追加.

セクション 1：製品用途 情報の追加.

セクション 1：SAP Material Number 情報の追加.

セクション 2：GHS分類 情報修正.

セクション 2：健康有害性 情報修正.

セクション 2：絵表示 情報修正.

セクション 2：注意書き - 廃棄 情報の追加.

セクション 2：注意書き - 安全対策 情報修正.

セクション 2：注意書き - 応急措置 情報修正.

セクション 2：注意書き - 保管 情報の追加.

セクション 2：シンボル 情報修正.

セクション 3：成分表 情報修正.

セクション 3：「この製品は混合物です。」の標準フレーズ 情報の追加.

項目 4：応急措置 - 症状及び影響 情報の追加.

セクション 4：毒性学的影響情報 情報の削除.

セクション 5：火災時情報（消火剤） 情報修正.

セクション 6：事故漏出時の清掃 情報修正.

セクション 6：事故漏出時の措置 情報修正.

セクション 6：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.

セクション 7：貯蔵情報 情報修正.

セクション7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正。
セクション8：眼の保護具 情報の追加。
セクション8：眼および顔面保護 情報の削除。
セクション8：mg/m³ 記号 情報の追加。
セクション8：作業環境許容値 情報修正。
セクション8：OEL登録機関の説明 情報修正。
セクション8：保護具 - エプロンについて 情報の追加。
セクション8：保護具 - 眼 情報の削除。
セクション8：保護具 - 吸入 情報修正。
セクション8：保護具 - 皮膚/手 情報修正。
セクション8：ppm 記号 情報の追加。
セクション8：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正。
セクション8：皮膚保護 - 推奨する手袋情報 情報の追加。
セクション8：皮膚保護 - 推奨する手袋 情報の追加。
セクション9：色 情報の追加。
セクション9：燃焼性（固体、ガス）情報 情報の削除。
セクション9：引火性情報 情報の追加。
セクション9：動粘性率情報 情報の追加。
セクション9：ナノパーティクル 情報の追加。
セクション9：臭い、色、グレード情報 情報の削除。
セクション9：粒子特性 適用しない 情報の追加。
セクション9：揮発分 情報の追加。
セクション9：追加性状に関する記載 情報の削除。
セクション9：蒸気密度/相対蒸気密度 情報の追加。
セクション9：蒸気密度の値 情報の削除。
セクション9：粘度 情報の削除。
セクション9：水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 情報の追加。
セクション9：揮発性有機化合物 情報の追加。
セクション10：避けるべき条件 情報修正。
セクション10：燃焼中の有害な分解物 情報の追加。
セクション11：急性毒性の表 情報修正。
セクション11：吸引毒性の表 情報修正。
セクション11：発がん性の表 情報修正。
セクション11：生殖胞変異原性の表 情報修正。
セクション11：健康影響情報（眼） 情報修正。
セクション11：健康影響情報（飲み込んだ場合） 情報修正。
セクション11：健康影響情報（吸入した場合） 情報修正。
セクション11：健康影響情報（皮膚） 情報修正。
セクション11：授乳影響の表 情報修正。
セクション11：長時間又は反復暴露した場合の標準フレーズ 情報修正。
セクション11：生殖毒性の表 情報修正。
セクション11：呼吸器感作性の表 情報の追加。
セクション11：呼吸感作性 情報の削除。
セクション11：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正。
セクション11：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正。
セクション11：皮膚感作性の表 情報修正。
セクション11：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正。
セクション11：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正。
セクション12：成分生態毒性情報 情報修正。

セクション 12：残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション 12：生態濃縮性情報 情報修正.
セクション 14：輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
セクション 15：労働安全衛生法の表 情報の追加.
セクション 15：法規名 - 表 情報の削除.
セクション 15：化管法の表 情報の追加.
セクション 15：適用法規のステートメント 情報修正.
セクション 16：UK放棄声明 情報の削除.
セクション 5：使ってはならない消火剤 情報の追加.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。